

●特別講座報告

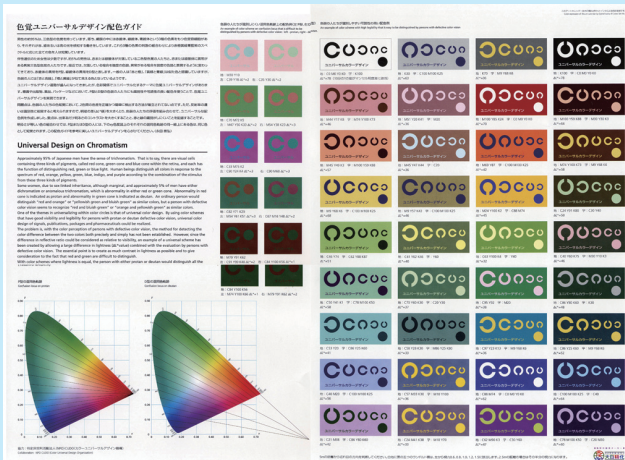
「色彩におけるユニバーサルデザインの考え方」

講師：竹下 友美 DIC カラーデザイン (株)
永田 泰弘 (株) カラープランニングセンター
会場：中央理美容専門学校
開催：2010年12月11日

今年度最後の特別講座は、ユニバーサルカラーについて、永田先生と竹下先生の講義と演習を行いました。

演習では実際に絵の具で混色をし、色覚の違いによりどの色が見えにくいのか？どの色とどの色が同じ色(近い色)に見えてしまうのか？など、実際に色覚特性の疑似体験をしました。

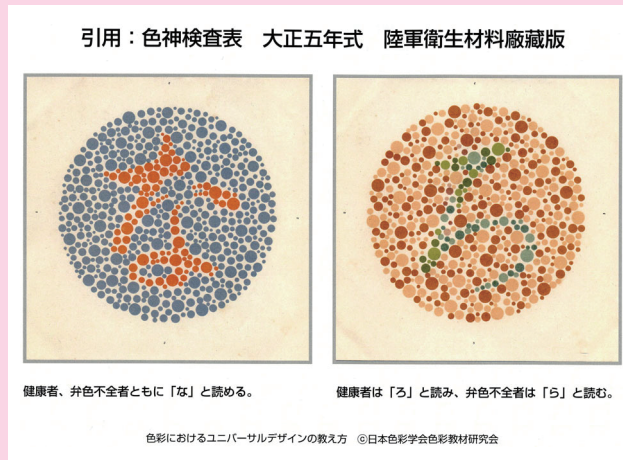
特殊なメガネ「バリエントール」をつけて色を見た時は、あちこちで驚きの声があがりました。実際に体験することで、今後の検定対策などにも大いに役立つ内容になりました。(H.N.)



◆配布した教材：識別しやすい配色



◆制作された教材：この教材を特殊なメガネで見ると？



◆配布した教材：大正時代の色神検査表

《参加者の感想》 川崎市 Y.N.さんから

僕は以前よりカラーユニバーサルデザインに興味があり、色彩学会ニュース10月号を見て参加させていただきました。

永田先生からは色弱の人の視覚特性について説明を頂くとともに、文字色と背景色の配色ガイドを紹介いただきました。この配色ガイドには多くの見やすい配色例が提示され、ともすれば見づらいという問題点が強調されがちなカラーユニバーサルデザインにおいて、逆に見やすい色が強調されており、教材として非常に有効ではないかと思いました。

また、竹下先生からも色覚のメカニズムから色の見えをシミュレーションするソフトの紹介まで説明をいただき、僕自身の理解を整理できました。

最後の演習では実際に絵の具で色を作って塗り、色弱の人の見えをシミュレーションするメガネで見ました。自分で作った色がどう見えるのかみんなで確認しあうことで、どのような色がどう見づらいのか印象に残り、非常に勉強になりました。

今後、カラーユニバーサルデザインについて説明するような場があれば、今回の経験を活かしたいと思います。ありがとうございました。



◆色票を作る演習



◆バリエントール